

この教材見本は、実際の1カ月分の教材よりも回数・ページ数が少ないダイジェスト版です。

※実際の教材の1カ月あたりの学習量は、1回30～60分×4回です。

この教材見本は1カ月分の一部を抜粋して掲載しています。

下記の黒字が今回の掲載回です。

※テキストスタイル、進学クラスの教材見本です。

入試特訓 疑問詞と主語 it

- 1 文法知識の確認 1
- 2 文法知識の確認 2
- 3 読解・英作文演習
- 4 添削問題

添削問題 解答解説

1

入試特訓 疑問詞と主語 it

文法知識の確認 1

30分

練習問題

今回のテーマは『疑問詞と主語 it』。

まずは<問題を解く→答えを確認>の繰り返しで、入試で出る文法事項をピンポイント復習！

わからないときは、**○つまずいたらココをチェック!**を見てみよう。

1 それぞれの英文の下線部を問う疑問文を書きなさい。

(1) Ken was born in Hawaii.

.....

(2) Ken was born in Hawaii.

.....

(3) Jack and Mary want to see Kaoru.

.....

(4) Jack and Mary want to see Kaoru.

.....

挑戦

(5) He talked about his time in Nepal the other day. (注) Nepal = ネパール

.....

●つまずいたらココをチェック! ●.....

疑問詞を使った疑問文の語順を正しく理解していない人は意外に多い。この機会に自信をもって使えるようにしよう。疑問詞を使った疑問文の語順は、2種類ある。

○ 疑問詞が主語になっていないとき ⇒ 〈疑問詞 + ふうの疑問文〉の語順

Who did Tom see there? (トムはそこで誰を見たのですか。)

○ 疑問詞が主語になっているとき ⇒ 〈疑問詞 + 動詞 ~〉の語順〔肯定文と同じ語順〕

Who saw Tom there? (誰がそこでトムを見たのですか。)

●.....

練習問題 1 の解答

(1) Where was Ken born?

場所をたずねる疑問文を作るので、「ケンはどこで生まれましたか」を意味する英文を作る。主語はKenなので、〈疑問詞 + ふつうの疑問文〉の語順となる。元がbe動詞を用いた文なので、疑問詞のあとは主語の前にbe動詞を出した疑問文になる。

☞ ケンはハワイで生まれました。
→ どこでケンは生まれましたか。

◀ 疑問詞が主語でない
疑問文

(2) Who was born in Hawaii?

誰がハワイで生まれたのかをたずねる疑問文を作る。疑問詞whoが主語となるので、〈疑問詞 + 動詞 ~〉という、もとの肯定文と同じ語順となる。

☞ ケンはハワイで生まれました。
→ 誰がハワイで生まれましたか。

◀ 疑問詞が主語の疑問
文

(3) Who do Jack and Mary want to see?

ジャックとメアリーが誰に会いたがっているのかをたずねる疑問文を作る。主語はJack and Maryなので〈疑問詞 + ふつうの疑問文〉の語順となる。主語が複数なので、疑問詞のあとは〈do + 主語 … ?〉となる。

☞ ジャックとメアリーはカオルに会いたがっています。
→ ジャックとメアリーは誰に会いたがっていますか。

◀ 疑問詞が主語でない
疑問文

(4) Who wants to see Kaoru?

誰がカオルに会いたがっているのかをたずねる疑問文を作る。主語は疑問詞whoなので〈疑問詞 + 動詞 ~〉の語順となる。疑問詞whoが主語になる場合はふつう3人称単数として扱うので、動詞はwantsとする。

☞ ジャックとメアリーはカオルに会いたがっています。
→ 誰がカオルに会いたがっていますか。

◀ 疑問詞が主語の疑問
文

(5) What did he talk about the other day?

彼は先日何について話してくれたかをたずねる疑問文を作る。下線部はtalk aboutの目的語にあたるので、下線部を問う疑問詞としてはwhatを用いる。timeが含まれているが、whenではないことに注意。前置詞aboutも忘れないこと。

☞ 彼は先日ネパールでの時間について話してくれました。
→ 彼は先日何について話してくれましたか。

◀ 疑問詞が主語でない
疑問文

(6) Tomorrow is Grandma's birthday. I'm going to send birthday greetings by email.

(注) birthday greetings = 誕生祝いのあいさつ

(7) I have three umbrellas. I use this umbrella most.

(8) Nancy's eyes are blue. (5語で)

(9) My mother looks young, but in fact she is forty-four.

(10) The flu is going around. Thirteen students were absent from school yesterday.

(注) flu = インフルエンザ go around = (病気が) まん延する ; 流行する

● **つまずいたらココをチェック!** ●

疑問詞は1語だけで働くとは限らない。疑問詞がその直後に別の語句を従え〈疑問詞 + α 〉で意味のまとまりを作っている場合もある。このあとの語順も、〈疑問詞 + α 〉が文中で主語になっているかどうかで決まる。

○ 〈疑問詞 + α 〉が主語になっていないとき ⇒ 〈疑問詞 + α + ふつうの疑問文〉の語順
Whose brother did Tom see there? (トムはそこで誰の弟を見たのですか。)

○ 〈疑問詞 + α 〉が主語になっているとき ⇒ 〈疑問詞 + α + 動詞 ~〉の語順
Whose brother saw Tom there? (誰の弟がそこでトムを見たのですか。)

練習問題 1 の解答

(6) How are you going to send birthday greetings?

誕生日のあいさつを送る方法をたずねる疑問文を作る。方法をたずねる疑問詞はhow。そのあとに、ふつうの疑問文を続ける。

☞ 明日はおばあちゃんの誕生日です。メールで誕生日のあいさつを送るつもりです。

→ どうやって誕生日のあいさつを送るつもりですか。

◀ 方法をたずねる how

(7) Which umbrella do you use most?

どのかさをもっとも使うかをたずねる疑問文を作る。「どのかさ」という意味のまとまりを which umbrella で表す。そのあとに疑問文の語順を続ける。

☞ わたしはかさを3本持っています。このかさをもっともよく使います。

→ あなたはどのかさをもっとも使いますか。

◀ which + 名詞

(8) What color are Nancy's eyes?

ナンシーの目は何色かをたずねる疑問文を作る。主語は Nancy's eyes, 「何色」は what color と表す。主語は Nancy's eyes なので, What color を文頭に置き、そのあとにふつうの疑問文の語順を続ける。

☞ ナンシーの目は青い。

→ ナンシーの目は何色ですか。

◀ what + 名詞

(9) How old is she [How old is your mother] ?

「彼女〔あなたのお母さん〕は何歳ですか」の意味の英文を作る。主語は she [your mother]。[～は何歳ですか]は〈How old + be 動詞 + 主語〉となる。〈how + 形容詞・副詞〉で「どれほど～」を意味する。

☞ わたしの母は若く見えますが、実際は44歳なのです。

◀ how + 形容詞・副詞

(10) How many students were absent from school yesterday?

何人の生徒が昨日学校を休んだかをたずねる疑問文を作る。「いくつの～」と数をたずねる場合は、〈how many + 複数名詞〉で表すので、「何人の生徒が」は how many students となる。これが主語なので、〈疑問詞 + α + 動詞 〉の語順となる。

☞ インフルエンザが流行っています。13人の生徒が昨日学校を欠席しました。

→ 昨日何人の生徒が学校を休みましたか。

◀ how many + 複数名詞

- 2 カッコ内の語を並べ換えて英文を完成させ、下線部全文を書きなさい。ただし、すべて1語不足しているので、それを補うこと。

(1) A : (coffee / does / taste / the)?

B : It tastes a little bitter.

.....



(2) A : (is / Mary / on / phone / talking / the / who)?

B : She is talking to John.

.....

(3) A : (box / how / is / this)?

B : It's ten kilograms.

.....

(4) A : (are / year / you) in?

B : I'm in my second year.

.....

(5) A : (a / days / does / how / she / the / use / week) Internet?

B : Seven days a week.

.....

練習問題2の解答

(1) How does the coffee taste?

howは「方法」をたずねる以外に、「印象や感想」について「どう（ですか）、どのようで」とたずねる意味でも使われる。このHowのあとに疑問文の語順を続ける。ここでのtasteは〈taste + 形容詞〉で「…な味がする」を意味する。また、whatを用いる場合はWhat does the coffee taste like? とlikeをつける。

問A：そのコーヒーはどんな味がしますか。

B：少し苦い味がします。

(2) Who is Mary talking to [with] on the phone?

BのShe (= Mary) is talking to John. から、Maryが誰と話しているのかをたずねる疑問文を作る。主語はMary。「～と話す」はtalk to [with] ～ で表すが、カッコ内にはともwithもないので、これを補う。「電話で」は文末にon the phoneを加えればよい。

問A：メアリーは誰と電話で話しているのですか。

B：彼女はジョンと話しています。

(3) How heavy is this box?

重さをたずねるときは〈how + 形容詞・副詞〉を用いて、how heavyとする。そのあとに、be動詞の疑問文の語順を続ける。

問A：この箱はどれくらいの重さですか。

B：10キログラムです。

(4) What year are you in?

Bのsecond yearは「2年生」の意味。「何年生ですか」と学年をたずねるときは、〈what + 名詞〉を用いて、what yearとする。このあとに、be動詞の疑問文の語順を続ける。

問A：あなたは何年生ですか。

B：2年生です。

(5) How many days a week does she use the Internet?

「彼女は週に何日インターネットを利用していますか」とする。日数をたずねるにはhow many daysを用いる。BがSeven days a week. (週に7日です。)と答えていて、カッコ内にweekがあるので、How many days a week (週に何日) のまとまりを文頭に置く。

問A：彼女は週に何日インターネットを利用していますか。

B：週に7日です。

入試問題にチャレンジ

ここからは実際の入試問題にチャレンジ！
今の実力でどれだけ入試問題が解けるか試してみよう！

1 【青森県入試問題 (改)】

ジェニーと、海外に留学しているアユミの対話文を読み、以下の問題に答えなさい。

- Jenny : Do you have any plans for next Sunday?
Ayumi : No, I have nothing special to do this weekend.
Jenny : (A) We made some movies for it. They are short, but very interesting. Could you come to the festival?
5 Ayumi : Of course. (ア)
Jenny : You can see them in the culture hall*.
Ayumi : Oh, I see. (イ)
Jenny : We made three movies. One of them is a movie about our school life, so you can see some of our friends in it.
10 Ayumi : Really? I want to see it. ①(a / how / is / ticket)?
Jenny : You don't have to buy one. Here you are.
Ayumi : Thank you. That's very kind of you.
Jenny : Our festival will start at ten o'clock.
Ayumi : OK. (B) I'm looking forward to seeing your movies.
15 Jenny : I hope you will enjoy them.

(注) culture hall = 文化ホール

- (1) 上の対話の意味が通るように、(A)と(B)に入るもっとも適当なものを、次の中からそれぞれ1つ選びなさい。

- ア I'll go to the culture hall by ten o'clock.
イ Ten o'clock is too early, so I can't go to the culture hall.
ウ I'm sorry, but I can't see a movie next Sunday.
エ Our club is going to have a movie festival.
オ I'll go to the culture hall at ten to buy a ticket.

A () B ()

(2) 対話の意味が通るように、(ア)と(イ)に入る英文をそれぞれ1つ書きなさい。

ア

イ

(3) 下線部①の()内の語に1語加えて、意味が通るように並べ換えなさい。

.....

許諾の都合により、掲載しておりません。

入試問題にチャレンジの解答

1

(1) (A) **エ** (B) **ア**

(A) (A)の次の英文 We made some movies for it. (わたしたちはそれのためにいくつか映画を作った) のitは何を指すかを考える。some moviesとあることと、そのあとにジェニーが Could you come to the festival? (そのお祭りに来ない?) と言っていることから、a movie festivalを含むエが適切だと考えられる。

(B) (B)の直前のジェニーが言った Our festival will start at ten o'clock. (映画祭は10時に始まる予定よ。) を受け、OKと了承したことから判断する。イとウはどちらも行けないという内容なので不適。チケットはもらったのに、オは「チケットを買いに10時に文化ホールに行きます」とあるので不適となる。

各選択肢の訳は以下の通り。

ア わたしは10時までに文化ホールに行きます。

イ 10時は早すぎるので、文化ホールには行けません。

ウ ごめんなさい、わたしは次の日曜日、映画を見に行けません。

エ わたしたちのクラブは映画祭を開く予定です。

オ わたしは10時にチケットを買うために文化ホールに行きます。

(2) (ア) **Where can I see them [the movies] ?**

(イ) **How many movies did you make?**

(ア) 直後の You can see them in the culture hall. の下線部を問う疑問文「どこでわたしはその映画を見ることができるのですか」を英語にすればよい。

(イ) 直後の We made three movies. の下線部を問う「あなたたちはいくつの映画を作ったのですか」を英語にする。〈how many + 複数名詞〉で意味のまとまりを作ることに注意。

(3) **How much is a ticket?**

ジェニーが「チケットを買う必要はありません」と答えているので、「チケットはいくらですか」とたずねていると考える。値段をたずねるには how much を使う。

重要語句

- special = 特別な
- Here you are. = (人にものを渡すときに) さあどうぞ。
- look forward to ...ing = ...するのを楽しみに待つ

訳

ジェニー：今度の日曜は何か予定はある？

アユミ：いいえ、今週末は特にやろうと思っっていることはないわ。

ジェニー：わたしたちのクラブが映画祭を開く予定なの。そのためにいくつか映画を作ったのよ。短い映画だけれど、とてもおもしろいの。その映画祭に来ない？

アユミ：もちろん行くわ。どこでその映画を見られるの？

ジェニー：文化ホールよ。

アユミ：わかったわ。映画はいくつ作ったの？

ジェニー：3作よ。その中の1作はわたしたちの学校生活に関する映画なの、だからその映画の中でわたしたちの友達の何人かが見られるわよ。

アユミ：本当？ 見てみたいな。チケットはいくら？

ジェニー：チケットを買う必要はないわ。はい、このチケットをどうぞ。

アユミ：どうも、親切にありがとう。

ジェニー：映画祭は10時に始まる予定よ。

アユミ：わかったわ。10時までに文化ホールに行くね。映画を見るのを楽しみにしているわ。

ジェニー：楽しんでね。

2

許諾の都合により、掲載しておりません。

how longは「物や時間の長さ」をたずねるときに使うので、設問文の意味は「ケンは今週の月曜から日曜までどれくらいの時間自宅で理科を勉強しましたか」というもの。7日間に実際に勉強した総時間数を問われている。

月曜と火曜はそれぞれ30分、水曜は20分、その翌日つまり木曜は1時間勉強した。金曜は実際に勉強した時間は40分、土曜も実際に勉強した時間は2時間。日曜は1時間。これらを足すと、 $30 + 30 + 20 + 60 + 40 + 120 + 60 = 360$ (分)、つまり6時間となる。

答えの文では、scienceをitで受ける。「6時間」は期間を表すforを用いてfor six hoursとする。

許諾の都合により、掲載しておりません。

入試特訓 疑問詞と主語 it

添削問題 解答解説

1 次の英文を読んで、あとの問いに答えなさい。

(配点 22)

Taiki and Brad are junior high school students. Last Saturday they went to karaoke. They finished singing, and they were walking home. アIt was late. Taiki looked (①) but Brad looked (②) .

“That was fun, Brad! I like Beatles songs. They are easy.”

5 “I think we sang too many songs. We were at the karaoke too long, Taiki.”

Taiki laughed. He thought Brad was just joking*, but Brad got angrier at his laughter*.

“Look, イit's already ten thirty! My mom wanted me to be home an hour ago. She must be angry.”

10 “ウIt's Saturday night! What are you worried about?”

“When I stay out too late, my mother takes away my allowance*.”

“Then why didn't you just leave an hour ago?”

“You wanted to sing more! You stopped me from leaving!”

15 The two boys kept walking. Taiki was upset and Brad was getting angrier and angrier.

“I didn't stop you, Brad.”

“Yes, you did! You always エdo this to me.”

“Do what? オIt's not my fault*. You made your own decisions*.”

20 “OK. Well, when my mom tells me to be home early, I have to be home early.”

Both of them walked together in silence*. Finally, Taiki spoke out.

“What do you want me to do? Should I stop going out with you?”

“No, why don't we just go out a little earlier? Then we'll get home on time.”

“You mean, YOU will get home on time. My parents don't care!”

25 Brad looked at Taiki at a loss*. Taiki's parents were very busy, so Taiki didn't like to stay home alone. Taiki got lonely because he did not have any brothers or sisters like Brad. Brad was very surprised to hear this, and then understood ケTaiki's loneliness*. He felt bad about getting angry and said, “Taiki, コwhy don't you come home with me on Saturday nights? My mother will be happy to hear that you can stay over. She does not like karaoke places very much.”

30 Taiki could not believe it. Brad explained about his games and movies. Taiki then had a big smile on his face and thanked Brad. Brad promised* to send an e-mail to Taiki the next day. They said good night to each other.

35 The next day, Brad sent the following* e-mail to Taiki.

40

To: Taiki
 From: Brad
 Subject: Our plan
 Hey Taiki, I talked with Mom last night. She wants you to have dinner with us and stay over on Saturday nights. I can't wait till next weekend. See you at school.
 Brad
 PS: I'm sorry for [⑥] last night.

(注) joke = 冗談を言う laughter = 笑い; 笑い声 allowance = おこづかい
 fault = 責任 decision = 決定 in silence = だまって
 at a loss = 途方にくれて; 困って loneliness = 孤独 promise = ~を約束する
 following = 次の

- (1) 本文の流れに合うように、空所①, ②に入れるのに最も適当な語を次の中からそれぞれ1語ずつ選びなさい。(各1点)
 (angry ; clever ; happy ; sick)
- (2) 下線部③が指す具体的な内容を、4語の英語で書きなさい。(2点)
- (3) 下線部④に「タイキの孤独」とあるが、なぜタイキは家に帰っても誰もおらず孤独なのか、理由を日本語で2つ書きなさい。(4点)
- (4) 下線部⑤とほぼ同じ意味を表す英文になるように、空所に適語を1語ずつ入れなさい。(2点)
 () () coming home with me on Saturday nights?
- (5) ブラッドはメールの最後でタイキに謝っている。何について謝っていると考えられるか。本文の流れに合うように、空所⑥に入れる語句を本文の中から抜き出しなさい。(2点)

(6) 下線部ア～エのitの中で、ほかと意味の異なるものを1つ選び、記号で答えなさい。

(1点)

(7) 次の各質問に主語と動詞のある英文で答えなさい。(各3点)

(i) What time did Brad have to be home last Saturday?

(ii) If Brad doesn't get home on time, what does his mother do?

(8) 次の英文が本文の内容に合うように、英文中の空所①～③に最も適当な語を1語ずつ入れなさい。(各1点)

5

Taiki and Brad went to karaoke last Saturday. They sang many songs and left for home late at night. Brad worried about staying out too late but Taiki didn't. Brad got angry because he wanted to be (①) earlier. Taiki was upset because Brad thought it was Taiki's fault. Taiki's parents were very busy and he had (②) brothers or sisters. He was lonely at home. Brad understood Taiki's loneliness and asked him to stay at Brad's house on Saturday nights. Taiki was (③) to hear that. The next day, Brad sent Taiki an e-mail inviting him for dinner on Saturday nights.

解答

- (1) ① happy ② angry
 (2) stop me from leaving
 (3) 両親が忙しいから。兄弟が1人もいないから。
 (4) How [What] about
 (5) getting angry
 (6) 工
 (7) (i) He had to be home at nine thirty.
 (ii) She takes away his allowance.
 (8) ① home ② no ③ pleased [happy ; glad]

解説

(1) lookのあとに形容詞を置くと、「～に見える」と様子を表す表現になります。4行目に That was fun (楽しかったね) というタイキの発言がありますから、タイキは楽しそうな様子です。①にはhappyが入ります。一方、6～7行目にBrad got angrier at his laughter (彼 (=タイキ) の笑いにブラッドはますます怒りました) とあります。angrierはangryの比較級ですから、その前から怒っていることがわかります。②にはangryが入ります。look clever (賢そうに見える), look sick (具合が悪そうに見える) はどちらも文脈に合いません。

考え方

〈look at + 名詞〉は「～を見る」を表すが、〈look + 形容詞〉は「～に見える；～のようだ」を表す。〈look like + 名詞〉も「～のようだ；～に似ている」を表す。

例：He looked at the picture. 彼はその写真を見ました。

He looked happy. 彼は楽しそうでした。

He looks like his father. 彼は父親に似ています。

(2) 下線部③を含む文You always do this to me. (きみはいつもぼくにこれをする。)の「これ」とは何かを考えます。16～17行目でI didn't stop you (ぼくはきみを止めなかった), you did (きみは止めた) と言い争っています。下線部③の「これをする」とは、この「止める」ということを指しています。「止める」とは、13行目にYou stopped me from leaving! (きみがぼくを引きとめたんだ!) とある通り、帰るのを引きとめることなので、do this to meはstop me from leavingを指しているとわかります。

(3) 26行目のalone (1人で) やlonely (孤独な) という単語の前後に着目しましょう。Taiki's parents were very busy (両親は非常に忙しい), he did not have any brothers or sisters (兄弟も姉妹も1人もいない) という理由から、タイキは1人孤独に家にいなければならないのです。

確認しよう

- **alone** ほかに知っている人がいない状態。1人の場合だけでなく、2人きりなど複数の場合にも使う。さびしいという気持ちは含まないことも多い。
 - **lonely** 孤独でさびしい気持ちを表す。
- (4) Why don't you …? は疑問文の形で「…したらどうですか」と相手に提案する表現です。下線部は「土曜日の夜はぼくといっしょにうちに来るのはどうですか。」という意味です。言い換えた文では空所の後ろがcomingに変化していることがポイント。How [What] about …ingで「…するのはどうですか」という意味を表すことができます。
- (5) ブラッドがタイキにすまないと思っている箇所を本文中から探しましょう。初めはタイキに腹を立てていたブラッドですが、タイキの事情を知ってタイキに対する気持ちが変わります。28行目にHe felt bad about getting angry and said (彼 (=ブラッド) は怒ったことを申し訳なく感じて言いました) という1文があります。ブラッドが謝りたいのはこのことです。I'm sorry for のあとは名詞または名詞と同じはたらきをする語句がくるので、空所には動名詞getting angryを入れます。

考え方

about, forなどの前置詞の後ろには名詞または名詞と同じはたらきをする語句が来る。動詞を続けるときは動名詞にする。不定詞の名詞用法 (to get angry など) は使えないので注意。

- (6) ア, イ, ウはどれも‘時’を表すitです。エのitを含む文は「それはぼくのせいではありません。」という意味で、itは帰りが遅くなったことを指しています。

考え方

時や寒暖、明暗などを表す特別用法のitは、「それ」と訳さない。

- (7) (i) 質問は「ブラッドは先週の土曜日は何時に帰らなければなりませんでしたか。」という意味です。8行目にit's already ten thirty! (もう10時半だよ。)とあり、そのあとにMy mom wanted me to be home an hour ago. (お母さんはぼくに1時間前に家にいて欲しかったと思います。)とあるので、ブラッドは10時半より1時間早い9時半には家にいなければならなかったことがわかります。「…しなければならぬ」の過去形はhad toです。
- (ii) on timeは「時間通りに」という意味で、「ブラッドが時間通りに帰宅しなかったら、お母さんは何をしますか。」という質問です。11行目にWhen I stay out too late, my mother takes away my allowance. (ぼくがとても遅くまで外出しているときは、母はおこづかいを取り上げます。)とありますから、この部分を用いて、主語をsheにした文を作ります。

(8) 要約文の記述が本文のどの箇所に対応しているのかに注意しながら問題を解きましょう。

- ① wanted to be () earlierとありますから、ブラッドがもっと早くどうしたかったのかを考えます。本文の言い合いの部分から、ブラッドは早く家に帰りたいだったのだとわかるので、homeが入ります。be homeは「家にいる」という意味です。
- ② この部分は、26～27行目のTaiki got lonely because he did not have any brothers or sisters (兄弟も姉妹もいなかったのでタイキは寂しかった)に対応しています。not … any～で「どんな～もまったく…ない」という意味で、これと同じ意味を表すのはno～です。
- ③ 空所が含まれる文のthatは、その前のto stay at … Saturday nights (土曜日の夜はブラッドの家に泊まること)を指します。そのことを伝えられたタイキの反応を示している33～34行目には、Taiki then had a big smile on his face and thanked Brad. (タイキはにっこり笑ってブラッドに感謝しました。)とありますから、空所にはpleased (喜んだ), happy (うれしく思う), glad (うれしく思う)などを入れればよいでしょう。

要約文の訳

タイキとブラッドはこの前の土曜日にカラオケに行きました。彼らはたくさんの歌を歌い夜遅くに帰路につきました。ブラッドはとても遅くまで外出していたことを心配していましたが、タイキはそうではありませんでした。ブラッドはもっと早く帰りたいだったので怒りました。タイキはブラッドがタイキのせいだと思っているのでうろたえました。タイキの両親はとても忙しく、兄弟もいません。彼は家ではひとりぼっちでした。ブラッドはタイキの孤独を理解し、土曜の夜は自分の家に泊まるようにタイキを誘いました。タイキはそれを聞いて喜びました。次の日、ブラッドは、土曜日の夜に夕食に招待するメールをタイキに送りました。

重要語句

- stop ~ from …ing = ～が…するのを止める；妨げる
- on time = 時間通りに (参考：in time 間に合って、遅れずに)
- stay out = 外出したままである
- take away = ～を取り上げる；持ち去る

訳

タイキとブラッドは中学生です。この前の土曜日、彼らはカラオケに行きました。歌い終わり、歩いて帰宅していました。遅い時間でした。タイキは楽しそうでしたがブラッドは怒っているようでした。

「楽しかったね、ブラッド。ぼくはビートルズの歌が好きなんだ。簡単だよ。」

「ぼくらはたくさん歌い過ぎたと思う。カラオケに長くいすぎたよ、タイキ。」

タイキは笑いました。タイキはブラッドが冗談を言っているだけだと思ったのです。けれどもブラッドはタイキの笑いにもっと怒りました。

「見て、もう10時半だよ。母さんはぼくが1時間前には帰宅してほしいと思っていたんだ。きっと怒っているに違いないよ。」

「土曜日の夜だよ。何を心配してるんだい。」

「あまり遅くまで外出していると、母さんはぼくのおこづかいを取り上げるんだ。」

「じゃあ、どうして1時間前に帰らなかったのさ。」

「きみがもっと歌いたがったからだよ！ きみがぼくを引きとめたんだ！」

2人の少年は歩き続けました。タイキはおろおろし、ブラッドはますます怒りをつのらせていました。

「ブラッド、ぼくはきみを引きとめなかったよ。」

「いや、引きとめたよ！ きみはいつもぼくにそうするじゃないか。」

「何をするんだって？ それはぼくのせいじゃない。きみが自分で決めたんだ。」

「わかったよ。母さんがぼくに早く帰れって言ったときは、早く帰らなくちゃいけないんだ。」

2人とも黙って歩きました。ついにタイキが口を開きました。

「ぼくにどうしてほしいの。きみと出かけるのをやめるべきかな。」

「そうじゃない。ただもうちょっと早く出かけようよ。そうすれば時間通りに帰れるよ。」

「きみが言っているのは、きみが時間通りに帰れるってことだ。ぼくの両親は気にしないよ！」

ブラッドは途方にくれてタイキを見ました。タイキの両親はとても忙しく、タイキはひとりぼっちで家にいたくなかったのです。タイキにはブラッドのように兄弟や姉妹がないので寂しかったのです。ブラッドはそれを聞いてとても驚き、タイキの孤独がわかりました。ブラッドは怒ったことを申し訳なく思い、言いました。「タイキ、土曜日の夜はぼくの家に来るのはどう？ タイキが泊まれるって聞いたら、母さんも喜ぶよ。母さんはカラオケ店がそんなに好きじゃないんだ。」

タイキは信じられませんでした。ブラッドは自分のゲームや映画のことを説明しました。するとタイキはにっこりと笑い、ブラッドにお礼を言いました。ブラッドは次の日にタイキにメールを送ると約束しました。彼らはお互いにおやすみのあいさつをしました。

次の日、ブラッドは次のようなメールをタイキに送りました。

宛先：タイキ

差出人：ブラッド

件名：ぼくたちの計画

やあ、タイキ、ぼくは昨晚母さんと話したよ。母さんは土曜の夜は君にぼくたちと
いっしょに夕食を食べて、泊まってほしいって。ぼくは次の週末が待ちきれないよ。
じゃあ学校で会おう。

ブラッドより

追伸：昨夜は怒ってごめんよ。